

石神ふれあい祭り

目次

12月定例会

12月議会あらまし／補正予算	P 2
会派の構成が変更になりました	P 2
賛否の分かれた議案、討論	P 3
議会のライブ配信がスタート!	P 3
村政を問う! 〔一般質問〕	P 4~10
委員会レポート	P 11
まちづくりNew Face／3月定例会日程 (予定) ...	P 12

石神ふれあい祭りでの石神小学校
リトルブルースターズのパフォーマンス

12月議会 あらまし



※全議案の議決結果は
ホームページでご覧
いただけます。

令和6年第4回定例会（12月議会）は、12月2日から19日までの会期で開催しました。12月10日から12日の3日間、12人の議員が一般質問を行いました。また、13日と16日に令和6年度の補正予算を審査し、最終日19日に議案審議を行い閉会しました。

議案審議では、一般会計補正予算、教育委員会教育長の任命など村長提出議案を含む16件を可決・承認・同意しました。

また、議員提出議案1件を可決しました。

補正 予算

総合体育館に空調・換気設備を設置

令和6年の真夏日・猛暑日は10年前の2倍超となっており、屋内競技においても活動中の熱中症を回避する必要があります。総合体育館の「メインコート」「サブコート」「柔剣道場」などへの空調・換気設備設置工事および既存設備の更新に向け、令和6年度から令和7年度にかけて実施設計する予算を可決しました。設置工事は令和8年度、供用開始は令和9年度に予定されています。

■補正予算総額 891万円（令和6年度から7年度まで）



総合体育館 メインコート

補正 予算

小・中学校の体育館などに冷風機を設置

小・中学校の体育館・格技場には、今後、段階的に空調設備の設置が進められる予定です。空調設備が設置されるまでの期間中においても熱中症予防対策を講じるため、冷風機を賃借する予算を可決しました。

■補正予算総額 2,178万円（令和6年度から10年度まで）

会派の構成が変更になりました

宮本 翔太 議員が新政とうかいに加入したことに伴い、会派の構成が変更になりました。新しい会派の名簿および議場の議席図は以下のとおりです。

議員の紹介は、議会のホームページで閲覧できます。



▲議員紹介

新政とうかい					
○飛田 静幸	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一		
吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	三上 修		
松江 秀明	川崎 克彦	川崎 裕弥	宮本 翔太		
公明党					
○岡崎 悟	植木 伸寿				
光風会					
○恵利 いつ	村上 志保				
会派に属さない議員					
大名 美恵子	阿部 功志				

○会派代表者

演台					
4	3	質問席	2	1	
川崎裕	宮本		恵利	村上	
11	10	9	8	7	6
寺門	笹嶋	三上	松江	川崎克	大名
18	17	16	15	14	13
飛田	大内	越智	吉田	河野※	岡崎
傍聴席					

▲議場の議席図

※議長

各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

議員名 議案等名	新政とうかい											公明党		光風会				結果	
	飛田静幸	大内則夫	越智辰哉	河野健一	吉田充宏	寺門定範	笹嶋士郎	三上修	松江秀明	川崎克彦	川崎裕弥	宮本翔太	岡崎悟	植木伸寿	恵利いつ	村上志保	大名美恵子		阿部功志
議案第 77 号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	×	×	可決
議案第 81 号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○

○…賛成 ×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案などの名称と要旨

議案第 77 号	令和 6 年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号） 制度改正に伴うシステム改修に係る補助金の受け入れ、集団検診の予約方法変更に係る住民周知および過年度補助金の返還等に伴い、必要な予算措置を講じるもの
議案第 81 号	茨城租税債権管理機構規約の一部変更に関する関係地方公共団体の協議について 森林環境税および森林環境譲与税に関する法律の施行により、森林環境税が創設されたことに伴い、規約の一部を変更するため、地方自治法第 290 条の規定により、議会の議決を求めるもの

反対討論
大名 美恵子 議員
反対するのはマイナ保険証への移行に伴う電算処理業務変更委託料への国庫補助金について。移行後も医療現場ではマイナ保険証が読み込めないなどのシステムトラブルが多発。従来の健康保険証は廃止せず存続が必要。

議案第 77 号
令和 6 年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）

討論とは…
自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。



議会のライブ配信がスタート！

さらなる利便性の向上と開かれた議会を目指し、スマートフォンやパソコンなどから本会議の中継を視聴できるインターネットでの「ライブ配信」を開始します。

自宅からも本会議の中継が視聴できるので、ぜひご活用ください。

配信は令和 7 年 3 月定例会からを予定しています。

※視聴にかかる通信料は、視聴者負担となります。

東海村議会ホームページの「議会中継」をクリックすると視聴できます（令和 7 年 3 月予定）



村政を問う!

一般質問

川崎 克彦 議員 P.5

- 1 防犯対策について
- 2 村発足 70 周年記念事業の取組について
- 3 街路灯及び防犯灯の設置について

笹嶋 士郎 議員 P.5

- 1 村の財政対策について
- 2 投票率向上について
- 3 少子化対策における結婚支援について
- 4 給食費無償化などによる子育て支援について

三上 修 議員 P.6

- 1 要介護 3 を予防する施策が必要
- 2 休日診療医の支援状況はいかに
- 3 役場出張窓口で住民サービス向上を
- 4 海外からの来村者の安全確保はいかに

大内 則夫 議員 P.6

- 1 南新川における維持管理について
- 2 東海中央土地区画整理事業について
- 3 真崎古墳群南斜面の買収について

阿部 功志 議員 P.7

- 1 県の避難計画に係る検証委員会の意見の受け止めは
- 2 避難計画の村民説明会が必要だが
- 3 要支援者の絆などへの移動方法は
- 4 村政懇談会の参加者を限定する理由は
- 5 駅東口の座りにくいベンチの改善は
- 6 ゴミの出し方の実態と解決策は

越智 辰哉 議員 P.7

- 1 相次ぐ強盗・闇バイト犯罪への対応について
- 2 中学受験への対応について
- 3 原子力災害時における避難行動について
- 4 住民に開かれたコミセン利用の在り方について

植木 伸寿 議員 P.8

- 1 人材育成に向けた環境づくりへの取組は
- 2 特殊詐欺等から住民を守る取組は
- 3 とうかいまるとデジタル化構想の進捗は

宮本 翔太 議員 P.8

- 1 共同親権・法定養育費について
- 2 養育費確保・親子交流支援について
- 3 心の健康観察について

村上 志保 議員 P.9

- 1 オーガニック給食の実現と農業及び地域の活性化について
- 2 村政懇談会の形態について
- 3 中学校内フリースクールの現状と課題及び今後の支援について

大名 美恵子 議員 P.9

- 1 国民健康保険事業会計の運営の状況について
- 2 障がい者の運動・スポーツへの参加促進について
- 3 東海第二発電所の工事における労災認定の発生状況について
- 4 5歳児健診実施に対する考え方について
- 5 小・中学校の女子トイレに生理用品を常備することについて

岡崎 悟 議員 P.10

- 1 上下水道の耐震化の現状について
- 2 「晴嵐の碑入口」から「村松晴嵐の碑」等の整備について
- 3 感震ブレーカーの周知について
- 4 公園の健康遊具の設置について

松江 秀明 議員 P.10

- 1 保育所の待機児童対策について
- 2 自転車の安全な利用について
- 3 ストッカー跡地の再利用について

※青字の質問を掲載。
※議会ホームページでもご覧いただけます。

Q 東海村議会

検索



問 村発足70周年の取り組みは

答 新たな村政運営の契機とする

問 事業の目的や概要はいかに。

答 70周年の節目を村民全体で祝うとともに、多くの先人が築いてきた歴史を振り返ることで、シビックプライド（村に誇りや愛着を持ち、地域社会に貢献する意識）を高め、さらに将来を展望し、新たな村政運営の契機とする。令和6年度から3年間をかけて、啓発情報発信活動に注力しながら、記念事業、関連事業、記念式典、記念誌の発行などを通じて、村民の心に刻まれるようなさまざまな取り組みを展開していく。



新政とうかい
かわさき かつひこ 議員



70周年記念ロゴマーク入りのトートバッグ

問 取り組み状況と成果、課題はいかに。

答 小・中学生を対象に「記念ロゴマーク」を募集し、投票で選出されたグランプリ作品を活用して、のぼり旗や缶バッジなどを制作し、啓発活動を行っている。その他、地域住民や団体が企画したイベントの啓発効果は大きく、これまでの取り組みや反応に一定の成果を感じている。課題としては、さらなる機運醸成と、記念事業・関連事業の立案と実施である。

問 給食無償を含めた子育て支援策は

答 小学生から高校生まで給付金支給

問 3月議会の新政とうかい代表質問の少子化に関する質問で、子育て世代の移住・定住を促す観点からも学校給食の無償化を要望した。一方、村は今年度から子育て世帯に向けた支援強化パッケージにより第2子から保育の無償化、在宅育児手当の支給などを行っているが、現在の物価高騰の状況を踏まえ、学校給食の無償化を含めて子育て世帯にどのような経済支援を考えているのか伺う。

答 近年の物価高騰によりさまざまな物の費用が上がっている。子



新政とうかい
ささじま しろう 議員



多くの村内生徒が通う東海高校

どもたちが学びの機会を失うことがないよう、小・中学生の児童生徒を持つ世帯に対し、経済的な支援が必要と考える。具体的には、小・中学生に給付金の支給実施を検討している。

問 子育て世帯は、小・中学生だけでなく幼児から高校生も含まれる。高校生の居る世帯は、通学・受験とお金がかかる。高校生までを対象と考えるべきでは。

答 高校生についても学習費のかかる時期であることから、支援の対象として考えたい。

問 要介護3を予防する施策が必要

答 支援体制の強化に努める

問 介護予防に着眼した取り組み状況は。

答 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施により、生活習慣病などの重症化の恐れがある方に対し、医療機関への受診勧奨や保健指導を個別に実施中。認知症発症のリスク低減や認知機能低下の予防を目的とした認知症予防教室、健康維持や社会参加を促すいきいき体操教室を開催している。保健・医療の専門職が、高齢者の運動機能、口腔機能の向上や栄養改善および認知症予防を複合的に行う生活機能の改善を支援している。



新政とうかい
みかみ おさむ 議員
三上 修



村内の活発な健康づくり活動
(うきうき筋トレサークル南台)

問 介護保険制度の維持のため、介護保険事業者とかかりつけ医との連携が重要。見解は。

答 村では在宅医療・介護連携推進事業に取り組んでいる。医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療機関と介護事業所等の協働や連携を推進している。高齢者やその家族が安心して生活できる支援体制の強化に努める。

問 真崎古墳群南斜面買い取りは

答 用地取得を見据え協議を再開する

問 令和4年9月議会でも南斜面買い取りについて質問をしている。その時には真崎古墳群や真崎横穴群の文化財としての価値付けを行い、地域と共通のビジョンを持つて整備活用方針決定、計画策定を進める中で土地取得の必要性について協議を行うとの答弁があった。2年が経過したが村としてどのような保存活用を考えているか伺う。

答 真崎古墳群・権現山古墳・曲がり杉・真崎貝塚といった貴重な真崎地区の歴史として一体的に捉え



新政とうかい
おおうち のりお 議員
大内 則夫



細浦から見た真崎古墳群南側斜面

る保存活用を検討しており、地域と共通ビジョンを持つため協議を令和2年度に行っていたがコロナ禍において中断しており現在も協議は実施されてない現状である。村として、真崎古墳群南側斜面の真崎地区における歴史の中での位置付けを明らかにしたいと考える。今後は、地域との協議を再開し、真崎古墳群南側斜面の価値付けを進めていき、用地取得も見据え、保存活用のためのビジョンを地域と共に策定したい。

問 燃えるごみの出し方、解決策は

答 相談者に丁寧に個別対応している

問 「自治会に入らなければごみを出させない」「自治会を抜ければごみを出させない」という班はどのくらいあると村は把握しているか。また、解決のためのどんなアイデアを提案しているか。

答 ごみ集積所の設置管理運営は住民にお願いしているのですが、村では実態を把握していません。また、村から自治会などに提案するのは難しいが、相談者には10世帯以上まとまれば集積所の新規設置ができることや近隣の別の集積所の案内をしている。



自治会加入に関係なくごみを出せる集積所(百塚原第一班)

問 自治会加入がごみ集積所利用の条件ではないことをまず広報する。そして自治会に加入していなくても集積所を利用できる班が村内にいくつもあつて、そこは、利用の条件として集積所の清掃当番をしたり、適正な管理費を負担したりして円滑にごみを出せている。こういうことを班の責任者などに広く伝えては、と提案する。出させないのは村八分では。

答 ごみ収集所独自の運営ルールなどに関するところのため、村が関与することは難しい。



あべ こうし 議員

問 気軽に足が運べるコミセンに

答 具体的な取り組みを進めたい

問 コミセンは「貸館施設」であり事前予約を基本とするが、住民がより気軽に足を運べる施設であるべきと考えるが。

答 コミセンの設置目的である地域住民の交流や地域活動の推進を図る観点から、住民が気軽に来館し、利用できることは重要である。今後は、気軽に足を運べるよう取り組みを進めていきたい。

問 コミセンのロビーに子どもたちが学習や読書、ゲームなどができるようなレイアウトに変更する。あるいは、コミセンの和室やホー



新政とうかい
おち 越智 たつや 辰哉 議員



コミセン和室での母と子のサロン
(村ホームページから引用)

ルを子育て世帯に限定して、予約フリーで月1回程度開放するなど取り組みを実施してはどうか。

答 いずれの案も気軽に足を運べる有効な取り組みであり、子どもの居場所づくりや子育て支援にもつながるものである。また、運用上の改善で可能な取り組みでもあり、今後、施設ごとの予約状況や利用形態、施設形状といった特性を踏まえながら、取り組んでいきたい。

問 手続きワンストップ化への推進は

答 窓口と執務エリア改革に取り組む



公明党
川崎 伸寿 議員
うえ き 植木

問 窓口手続は住民目線に立ったワンストップ化を図ることが強く求められる。これをどう推進するのか。

答 10月に策定した窓口改革基本方針で、「書かない」「待たない」「迷わない」「回らない」「行かない」そして「快適で居心地がいい」という窓口の将来像を設定し、来庁者ファーストの視点で令和9年度までに整備することを決定した。

問 来庁者のことと併せ、職員の働きやすさも求められる。どう取り組むのか。

答 現庁舎は、平成7



来庁者目線での窓口業務を検証中

年の建設から30年が経過している。この間、業務の質や量の変化、住民ニーズの多様化の中で庁舎の役割・機能、職員の動きも変化している。これまで、総合計画に「新しい役場への転換」を掲げ、DXや業務改革などを強力に進めてきた。今般、窓口改革とセットで庁舎執務エリア全体をリノベーションし、職員の働きやすさを高め、よりよい住民サービス、持続可能なまちづくりのため全庁一丸となって取り組んでいく。

問 養育費や親子交流 取り決め支援は

答 さらなる連携で相談につなぐ



新政とうかい
宮本 翔太 議員
みやもと しやう た

問 窓口では、離婚届提出時に養育費・親子交流の取り決めについてチェック欄が空欄の方へ、声かけによる相談窓口の案内や子供の養育費や親子交流に関するパンフレットの再配布が可能かと思うが、見解を伺う。

答 離婚届には面会交流や養育費の取り決めについて確認欄が設けられており、現在も戸籍窓口では離婚届を受理する際、子どもの有無のほ



法務省発行の養育費や親子交流に関するパンフレット

か、それらチェック欄への記入についても、その都度声掛けをしている。これら養育費などの取り決めについては離婚後の生活に大きく影響するものでもあるため、今後の取り扱いにおいては、「空欄のまま」あるいは、「まだ決めていない」の欄にチェックしている方に対しては、改めて各種案内のパンフレットなどを渡すとともに、これまで以上に関係部署とも連携を密にし、相談が必要な方についてしっかりとつないでいきたいと考えている。

問 現在の村政懇談会の形態で十分か

答 参加者全員が発言でき理解深まる

問 以前の村政懇談会では各地区100人近くもの人が参加した。一方、現在の村政懇談会は、参加人数が各地区十数人程度に制限され、話し合うテーマも単一化されている。この形態になった背景は。

答 発言者が限られることや地区自治会の負担も課題であり、新型コロナウイルス感染拡大を機に今の形態に変更した。

問 参加者を制限することは主體的にまちづくりに携わろうという人を増やすことにつながるのではないのでは。現在の懇談会では以前のよくな村政の説明や事業



光風会
村上 志保 議員



令和6年度に行われた
グループワーク形式での村政懇談会

説明は行っているか。また、令和6年度のグループワークのファシリテーター委託料は。

答 全ての参加者がお互いに知り合い発言を深められるため、地域への関心を強くする人が増えると期待できる。村政に関してはテーマに関連した内容を説明している。ファシリテーターへの委託料は税込みで66万円。

問 村長に伺う。村政懇談会をオープンな形式に戻してはどうか。

答 開催方法は引き続き検討していきたい。

問 国保税今後引き上げてはならない

答 税率改正も視野に入れ検討が必要

問 村は現在、来年度の税率などの検討を行っているが、被保険者の生活は物価高騰などで深刻さが増している。今後、税率引き上げは行つてはならない。

答 令和4年度の税率改正以降、事業費納付金の増加に対応しきれず、支払準備基金から2億円近い繰り入れを2年続けてきた。これにより支払準備基金の残高は6000万円ほどとなり、今後は、「国民健康保険運営協議会」の意見を伺いながら、国保事業を持続可能な制度として安定的に運営していく



おおな みえ子 議員



安心できる「国保」でこそ万全な体調管理

ため、税率改正も視野に入れた検討を進めていく必要があると認識している。

問 県は、令和5年、6年度の急激な納付金増加の要因をどのよう示しているのか。

答 医療費増による県の国保特別会計の収支状況悪化に伴い、国保事業費納付金の大きな変動を避ける調整処理ができなくなったこと、後期高齢者医療制度の被保険者数の増に伴い、後期高齢者支援金が大増となったことなどが挙げられる。

問 村松晴嵐の碑周辺の整備は

答 J-PARC 進入道路と一緒に

問 第9代水戸藩主徳川齊昭が、1833年に水戸八景と定めた「村松晴嵐の碑」と海まで続く八間道路は、本村を代表する観光スポットである。平成26年12月議会で、国道245号線脇の晴嵐の碑入口から村松晴嵐の碑および八間道路の整備を求めた。当時は、国道245号線拡幅工事終了後に、晴嵐の碑に入る道路の整備、観光看板の設置、駐車場も含めた阿漕ヶ浦周辺全体の整備を検討するとの



国道 245 号線脇に佇む晴嵐の碑入口

答 答弁だった。今後の取り組みを伺う。
J-PARC アクセス道路整備は、日本原子力研究開発機構と本村が共同で進めている。工期は2カ年を想定し、工事は機構の一括発注で、機構の予算が確保され次第、早期に工事着手できるように調整している。この工事で、J-PARC 入口付近に一般車両28台と大型バス3台の駐車場とトイレを整備する。また、村松晴嵐の碑や村松海岸を案内する看板の設置と、八間道路方面への歩行者用ボードウォークの整備を計画している。



公明党
おがさわら さとる 議員

問 保育所の待機児童対策は

答 入所保留児童の減少に取り組む

問 村内保育所の整備状況と待機児童の現状を問う。
答 10月に小規模保育事業が2施設開所し、2月には2歳児までの児童を対象とした公立の「東海村緊急保育所」を開所することから、今年度末には公立・私立を合わせた14の保育施設が整備される予定である。12月1日現在で保育施設への入所を待っている児童は100名だが、新規施設の開所により、昨年同月より12名減少している。



東海村子育て応援ポータルサイト「のびのび子育て帳」
<https://www.tokai-kosodate.jp/>

答 ポータルサイト「のびのび子育て帳」で情報提供するとともに子育て支援センターにて入所に係る相談会を実施している。
問 待機児童解消に向けた取り組みを問う。
答 令和7、11年度までの5カ年を計画期間とする「第三期子ども・子育て支援事業計画」において、保育ニーズを満たす保育枠を確保するための方策を検討している。本計画において、民間園を含めた入所保留児童の減少に取り組む。



新政とうかい
まつえ ひであき 議員

文教厚生
委員会

校内フリースクールを視察しました

10月7日、今年度から東海中学校および東海南中学校に開設された、校内フリースクールを視察しました。この校内フリースクールは、教室へ入ることが難しい生徒に、安心して利用してもらえる居場所として開設されたものです。

学校の入り口からの導線は、人の目が気になる生徒でも利用しやすいよう配慮され、複数人で活動できるスペースや、パーティションで区切った一人用のスペースを確保するなど、生徒が自分で考え、活動していける環境が整えられていました。また、支援員は一人一人の心に寄り添う難しさもありながら、信頼関係を築くことを第一に考えている様子がうかがえました。

一方で、人員や備品が不足していることも確認したことから、いっそう充実させ支援を続けられるよう、今後も調査・研究を続けていきます。



校内フリースクールの室内を見学する委員

原子力問題
調査特別
委員会

第14回全国原子力発電所立地議会サミットに参加しました

第14回全国原子力発電所立地議会サミットが10月31日、11月1日に東京で開催され、議長を含めて14名の議員が参加しました。

このサミットは、全国の原子力発電所が立地している自治体の市町村議員が一堂に会し、原子力発電等の課題について情報交換を行う場として2年ごとに開催されているものです。

今回のサミットでは「GX実現に向けたエネルギー政策～原子力発電と立地自治体の在り方を考える～」をメインテーマに掲げ基調講演が行われたほか、議員は5つの分科会に分かれ、住民の安全・安心の確保、地域の振興のためにそれぞれの立場から考えを述べました。同じような課題を抱える全国の議員との意見交換により、原子力を含む今後のエネルギー政策について考える良い機会となりました。



分科会の様子

にじいるカフェ

まちづくり New Face

新たに村に仲間入りした店舗や団体などを紹介。
地域に貢献する活動を応援していきます。



にじいるカフェは、須和間のNPO法人まつぼっくり「障がい者就労支援事業所」内に店舗を構えています。当法人は、障がいのある方が笑顔で安心して生活できる環境づくりを基本理念とし、地域で自立した生活が送れるよう支援活動を行っています。

このカフェは、一般就労を目指す障がい者が接客や調理補助などの実践的な就労訓練を通し、地域とつながる場として令和3年12月にオープンしました。地域の皆さまやお客さまに支えられ、一人一人の自信につながっています。

今後も多くの方に喜んでいただけるよう、おいしい料理と心温まるサービスを提供するとともに、地域との交流を通し、障がい者の皆さまが地域に羽ばたいていけるよう活動していきます。



にじいるカフェで元気に笑顔いっぱい働くスタッフ

表紙写真の紹介



シリーズ 未来へ

昨年11月の石神ふれあい祭りにて。石神小学校リトルブルースターズによる軽快な音楽と生き生きとしたダンスが披露され、観客の皆さんは手拍子とともに体を揺らし、会場は明るい笑顔であふれていました。

傍聴から はじめよう!

どなたでも傍聴できます。
役場議会棟2階にお越しください。(受付は30分前から)

傍聴の定員は42名



3月 定例会日程(予定)

インターネットでライブ配信予定



期 日	時 間	内 容
3月3日(月)	午前10時～	議案上程
3月11日(火)	午後1時～	代表質問
3月12日(水)	午前10時～	代表・一般質問
3月13日(木)	午前10時～	一般質問
3月14日(金)	午前10時～	一般質問

期 日	時 間	内 容
3月17日(月)	午前9時～	予算決算委員会
3月18日(火)	午後1時～	予算決算委員会
3月19日(水)	午前9時～	予算決算委員会
3月24日(月)	午前10時～	予算決算委員会まとめ
3月27日(木)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

※議案上程・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。